

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり報告数は4.62人と、2週続けてほぼ横ばいで推移しています。減少傾向の鈍化は、春休みが終わり新学期が始まった影響も考えられます。

引き続き、手洗い・うがいの励行や咳エチケットなど、感染予防に注意しましょう。

2. 感染性胃腸炎

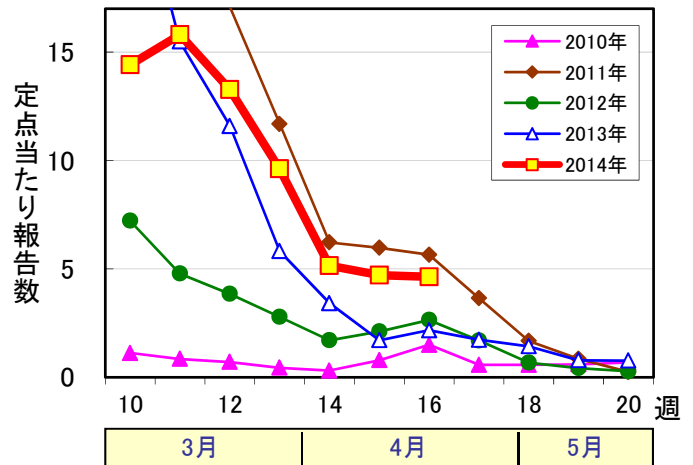
小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり10.4人と、前週とほぼ同程度で推移しています。また、基幹定点からの感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は7人の報告がありました。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、ノロウイルスに比べると症状が少し重い傾向にあるといわれています。手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

3. A型肝炎

1件の報告があり、今年の累計は15件となりました。(次頁参照)

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	171	4.62	3.37	↑	小児科	流行性耳下腺炎	17	0.71	0.60	↑
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.28			RSウイルス感染症	1	0.04	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.13	1.45	↑	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	感染性胃腸炎	249	10.38	9.88	↑		流行性角結膜炎	3	0.38	0.80	
	水痘	24	1.00	1.19	↑	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	1	0.04	1.28			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	-	-	0.29			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14	
	突発性発しん	13	0.54	0.76			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.18			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	1.00		
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.08							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	52	男性(80歳代)・1人、女性(100歳代)・1人
4	A型肝炎	1	15	男性(30歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	6	男性(40歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス) 感染性 胃腸炎
報告数	第12週	491	15	52	208	19	-	-	4	-	1	6	3	-	5	-	-	-	-	6
	第13週	356	16	45	207	22	3	1	11	-	2	15	2	-	4	-	-	-	-	2
	第14週	190	8	36	168	32	-	-	10	-	4	9	-	-	2	1	1	-	-	6
	第15週	174	9	48	234	7	-	-	19	-	7	8	2	-	6	-	-	1	-	11
	第16週	171	8	51	249	24	1	-	13	-	1	17	1	-	3	-	-	1	-	7
定点当 たり	第12週	13.27	0.63	2.17	8.67	0.79	-	-	0.17	-	0.04	0.25	0.13	-	0.63	-	-	-	-	0.86
	第13週	9.62	0.67	1.88	8.63	0.92	0.13	0.04	0.46	-	0.08	0.63	0.08	-	0.50	-	-	-	-	0.29
	第14週	5.14	0.33	1.50	7.00	1.33	-	-	0.42	-	0.17	0.38	-	-	0.25	0.14	0.14	-	-	0.86
	第15週	4.70	0.38	2.00	9.75	0.29	-	-	0.79	-	0.29	0.33	0.08	-	0.75	-	-	0.14	-	1.57
	第16週	4.62	0.33	2.13	10.38	1.00	0.04	-	0.54	-	0.04	0.71	0.04	-	0.38	-	-	0.14	-	1.00
全国	第14週	6.13	0.28	1.43	5.07	0.97	0.10	0.12	0.50	0.01	0.03	0.23	0.16	0.02	0.47	0.03	0.01	0.19	0.01	0.26
	第15週	4.18	0.31	1.59	5.76	0.91	0.12	0.14	0.53	0.01	0.04	0.23	0.16	0.01	0.48	0.01	0.04	0.20	0.01	0.39

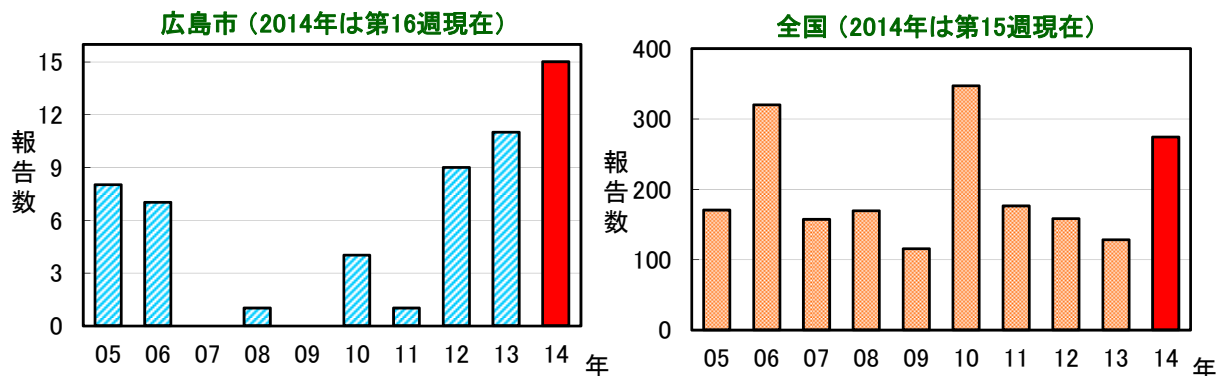
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 上気道炎 熱性痙攣	0	女	2014/03/03	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	4	女	2014/03/02	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎 肺炎	1	女	2014/03/02	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市及び全国におけるA型肝炎の年間報告数の推移



A型肝炎の広島市における報告数が、今年はすでに15件となり、これまでの過去最高の年間報告数(2013年、11件)を超えました。また、全国でも、2011年以降は年間150件前後で推移してきましたが、今年は第15週までに274件の報告があり、例年よりも多い状態となっています。

A型肝炎はA型肝炎ウイルスによる疾患で、主な感染経路は、ウイルスに汚染された飲食物を介した経口感染です。潜伏期間は2～7週間で、発熱、全身倦怠感、食欲不振、嘔吐、黄疸などの症状を起こします。高齢者では重症化することがありますので、特に注意が必要です。

A型肝炎の予防には、手洗いを励行するとともに、食物の十分な加熱を心がけましょう。また、ワクチン接種も有効です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第16週(4月14日～4月20日)